

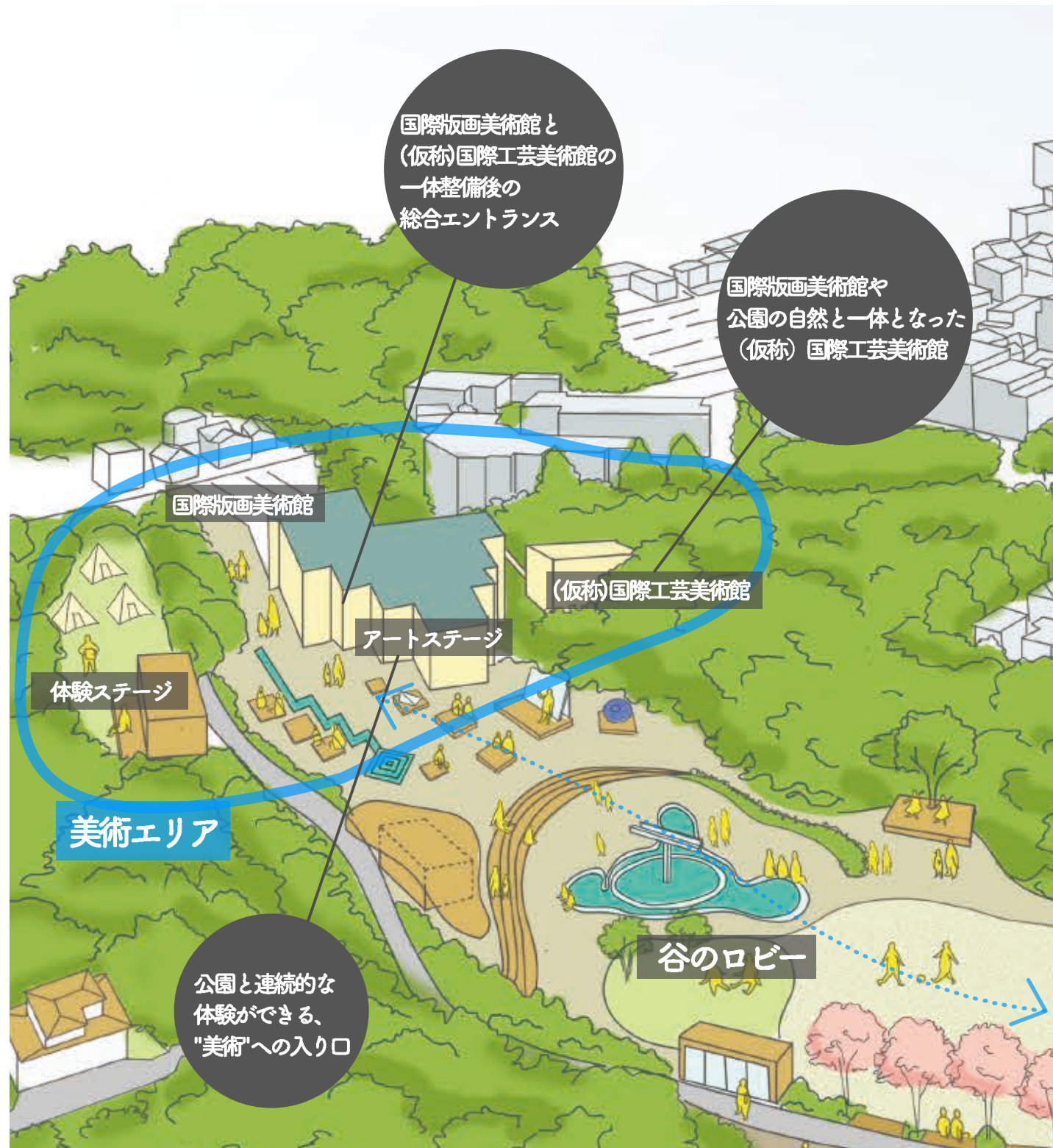
## 1：パークミュージアムの美術館として目指すもの

“パークミュージアム”は、通常の博物館や美術館のように展示されているものを鑑賞するだけでなく、町田の多様な文化芸術の活動や公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる新しい体験型の公園を意味しています。特徴的な谷戸地形や緑、湧水など、芹ヶ谷公園の恵まれた自然を感じながら、誰もが多様なアート活動に五感を通じて触れられる“ここならではの”体験を提供します。芹ヶ谷公園との一体的な整備にあたり、（仮称）国際工芸美術館の整備においても、町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、美術館に留まらず、緑あふれる公園の空間やまちなかと一体となって展開されている“パークミュージアム”ならではの、みんなに親しまれ愛され続ける美術館を目指します。

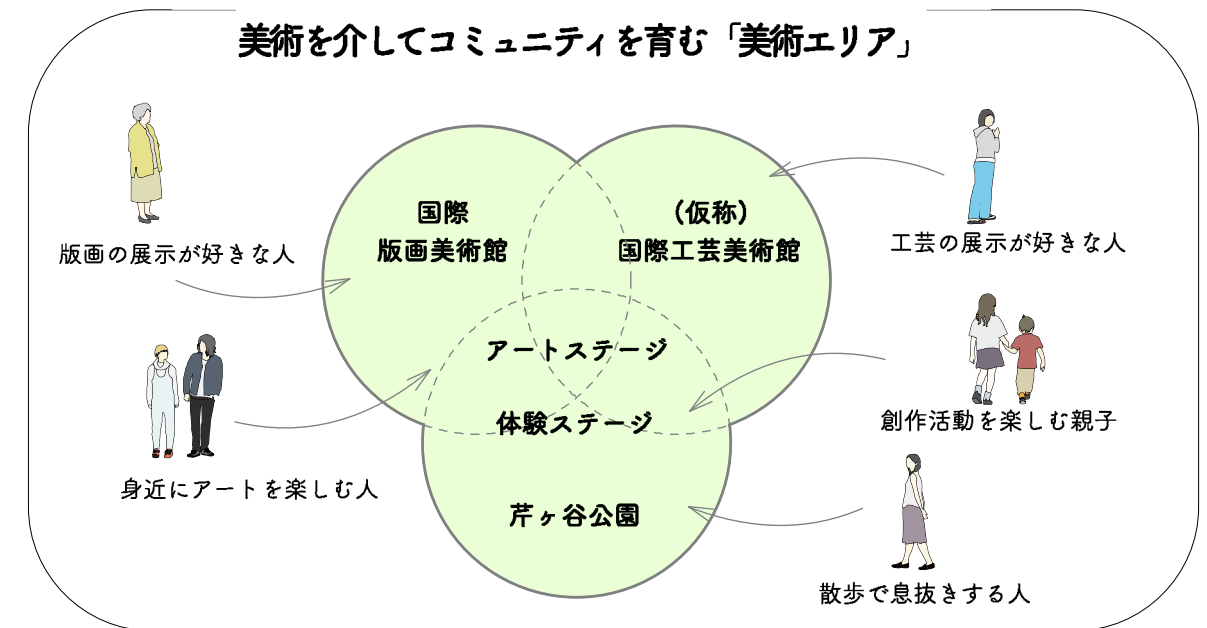


## 2：パークミュージアムにおける美術エリアについて

新しく整備する(仮称)国際工芸美術館は、国際版画美術館と共に公園と連続した「美術エリア」を形成し、パークミュージアムへと美術活動を展開するための拠点とします。パークミュージアムに美術活動が展開していく場として、工芸美術館の整備とあわせて、新たに「アートステージ」や「体験ステージ」など、美術活動をより身近に感じられる空間や、多様な創作活動が行える場を整備します。



国際版画美術館、(仮称)国際工芸美術館、公園が連携し、美術を介してコミュニティを育む「美術エリア」



美術を身近に体験できる複数のステージと、既存の園路を活かした回遊動線が生む、日常的な美術体験の創出

